

新井中央小だより

No. 309

ホームページ <https://myoko.schoolweb.ne.jp/15020005>メールアドレス myoko.araichuou-es@edu-niigata.ed.jp

2025（令和7）年8月29日

挑戦の2学期に！ ～うまくいかない経験も大切～

「今の子どもたちは、うまくいかない経験をあまりしていません。」

この夏休み中に参加した研修で、講師の先生からお聞きした言葉が心に響きました。確かにそうです。うまくいかない経験をするのを避けているかもしれません。省みると、私たち大人も子どもに自信をもたせるために、ストレスを与えないために、結果がうまくいくように配慮して、ハードルを下げたり、難しい課題を与えないようにすることもあります。このような状態が続くと、今後困難なことに会ったときに解決できなかったり、小さなことにも挑戦できなったりして、健やかな成長に影響を与えてしまうことも考えられます。

今日から2学期です。元気いっぱいに登校する子どもたちの姿を見て、全ての子どもが挑戦し、大きく成長できる2学期にしたいと強く願いました。2学期は1学期以上にたくさん行事や活動があります。子どもたちは、めあてをもって、新しいことにも進んで挑戦し、成功したら職員も一緒に喜び、失敗したら一緒に悔しがり、それを乗り越える方法を一緒に考える、そのように子どもたちが挑戦しやすい教育環境づくりをしていきたいと思っています。

さて、この夏休み中は、私たち職員は様々な研修をしました。手前味噌かもしれませんが、当校の職員は主体的に研修したと感じています。まさに、新しいことに挑戦している気概が職員から伝わってきました。自身が専門的に取り組んできた教科領域の指導方法を校内の他の職員に伝えようと自ら研修を企画して指導する姿、新井中央小型イエナプランの構築を目指して自ら直接大学の先生から单元内自由進度学習の指導を受ける姿、人権教育、同和教育の授業「なかま」の時間の指導案づくりで新たな題材、教材づくりや指導方法に挑戦する姿、2学期の人権教育、同和教育の教材づくりのために自主的に東京まで行き、本物を見聞きし学ぶ姿、そして他の職員にも広めようとする姿、総合的な学習の時間や社会科など教科の授業のために、休みの日も他の教育施設や教育団体の研修に参加して学ぶ姿、特別支援教育の充実のために研究大会に参加したり、校内の話し合いを何度も重ねたりし、一人一人の児童に最適な学びを提供しようとする姿・・・。

このように職員が教育の質の向上のために、新しいことに挑戦しようとしていることを、大変ありがたく思っております。また、私たちの職員が存分に研修できるのも、教育振興会（地域）の費用面でのご支援、コミュニティ・スクール委員会のご指導のお陰と感謝しています。

2学期、挑戦している職員による挑戦できる教育環境が整っていますので、子どもたちが積極的に挑戦する機会を増やし、うまくいっても、うまくいなくても、それを成長につなげていきます。子どもたちは新たな自分を発見し、自分の頑張りを感じ、自信をもち、自己肯定感が高まると思います。そして、合言葉「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」と心から思える2学期になるのではないかと期待しています。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き、子どもたちへの励ましをよろしくお願いいたします。

スマートフォン所持検討会議に参加して

8月19日に開催された第3回スマートフォン所持の提言の見直しに向けた検討会議に、当校から6年生代表児童4名、PTA会長様、校長の6名が参加しました。従来の提言を見直し、各家庭で「必要だ」と判断する場合は、使い方のきまりをそれぞれが設定し、保護者の適切な管理の下で所持するようにすること、学校へのスマホの持ち込みは原則禁止すること等今まで検討してきた新たな共通事項について説明を受けた後、6名で使い方の決まり「マイルール」を試行的に話し合いました。6年生は積極的に意見を出しました。

今後、代表の6年生が、児童集会で会議の内容と「マイルール」の作り方について全校児童に説明し、各学年で、発達段階に応じた「マイルール」を作ります。作った「マイルール」を市に送り、市でさらに検討し、「ルール」を各家庭に送り、各家庭でそのルールをもとに、「各家庭のルール」を話し合っていく予定です。